

ふ た ば
双 葉

愉しく 仲良く 元気よく

志を持ち国際社会に羽ばたくシカゴっ子

校長： 長谷川 雄一

躰（しつけ）

シカゴ双葉会日本語学校 全日校
(シカゴ日本人学校) 校長 長谷川 雄一

「三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二文（ふみ）、

十五理（ことわり）で未決まる」

これは江戸時代の知恵として残されている言葉です。

三つ心 これは心の豊かさ、感性のことをさします。

六つ躰 挨拶、お礼が言える、脱いだ靴を揃える、席を譲るなどをさします。

躰は仕付け（仮の縫い付け）と言葉が重なります。人としての基本を・・・という意味にもとれません。躰という漢字そのものも、身を美しく、なんとも日本語は美しく興味深いですね。

九つ言葉 状況に応じたあいさつや相手への気遣いの言葉をさします。

十二文（ふみ）文章が書ける。季節の言葉を添えて礼状などの手紙が書ける。十五理（ことわり）物事の筋道、社会の仕組みを理解している。

江戸時代はここで一人立ちして、その子自身の人生につながっていくとされていきました。当時はここで元服、ちなみに江戸時代には十二才でほとんど小さな大人として扱われていたそうです。

今日では江戸時代にはなかった新たな教育が様々に行われていますが、人を育てる原点、根の部分とも言える教育はいかがでしょうか。この点を本校も忘れないようにと自戒しています。学校教育目標である「愉しく、仲よく、元気よく」を全ての教育活動の中で教師側が意識して指導していきます。

幼稚園の子どもたちを毎日見ていると、教員として日々新たな発見があります。先ほど授業の様子を覗きに行くと、先生がドングリをひとつ渡して授業をされていました。子どもたちはドングリひとつからも見たり、聞いたり、触れたりと様々な気づきがあります。それを通してお友だちと会話をしたり、落としたドングリを互いに拾いあったりと、学びを通して思いやりの言葉も育っていく様子が伺えます。そして何よりも、すみれ幼稚園の先生方は、いつも明るく笑顔を絶やさず、子どもたちに前向きな言葉をかけています。こうした教育環境の下で育つ子どもたちは将来どんな大人になるのでしょうか。日米の懸け橋となり、社会で活躍し幸福な家庭を築いてほしいと思います。

さて、前回私が学校だよりに記した内容ですが、多くの保護者の方からお声がけをいただき、心から感謝申し上げます。教え子の生徒たちには、常にあきらめることなく前を向くように指導してきましたが、同様に受験期を迎えた保護者の方々には、それとは別に「家族円満、ご家族も健康第一で」と話してきました。

中学3年生の〇〇さんは、とても真面目な女子生徒でした。小柄でしたが、テニス部を3年間毎日続けたがまん強い生徒でもあります。（当時は土曜も日曜もお正月もありました）いつも笑顔を絶やさない生徒で、話す時は小声でボソボソ、控えめで大人しい女子生徒でした。社会科係もしてくれましたが、中学3年生で担任してからも、恥ずかしがり屋で、ちょっと面白い子との印象しかありませんでした。当時はクラス数も生徒数も多く、よい子ほど関りが少なかった時代でした。

表現は難しいのですが、成績はあと少しでトップクラス、常に上位にいますが、トップまではあと一頑張り必要という成績でした。しかし、こうした真面目な生徒は、行く学校によりいくらでも伸びる可能性はあります。当然、〇〇さんも地元のトップ校を目指していました。（偏差値では70近い学校です）当時は、偏差値による進学指導がたいへんな社会的批判を巻き起こし、高校入試制度も変化を迎えていました。その結果、私の県では、公立学校に推薦入試を加えて、一般入試との二度の受験機会を設けていました。私立高校が1月から2月にかけて入試を行い、上位の成績優秀な生徒を先取りしていたので、公立高校も2月に優秀な生徒を確保したいとの現実的な問題があり始められた入試制度でした。

〇〇さんも迷った末、推薦入試に挑戦することになりました。可能性としては、ボーダーラインより少し危険でした。しかし、一般入試を含めると、合格ラインにいる生徒ですし、二度チャンスがあるというのも事実です。万が一、公立高校が落ちた場合の受け皿となる併願の私立高校からも、合格通知を受け取りました。

そして第一志望の公立高校の推薦入試に挑戦しました。学科試験と面接です。それに内申点で決まります。担任としては、ボーダーライン上で安易に受験させ、落とされた場合、今は大丈夫と言っている、実際にはショックは大きなもので、生徒の立場になると大きく動揺するものです。一般入試まで2週間もない期間におちついて学習ができなくなり、その結果一般入試も不合格になる心配もありました。しかし、誰もが、自分が、わが子が不合格になるとは思いたくありません。〇〇さんと保護者とも、そのあたりの慎重な話し合いは行いましたが、〇〇さんの強い希望でもありました。小柄で大人しい子でしたが、意志はしっかりとした生徒でした。（このあたりはご両親の教育の賜物です。）

さて、前置きがとても長くなりましたが、運命と言えればそれまでですが、〇〇さんの運命はここから大きな困難に直面することとなります。平和で穏やかな日常生活から、奈落の底に落とされてしまうとは、誰にも予想できないできごとでした。

推薦入試が終わり、あまり自信がなさそうに報告をしてきました。すぐに一般入試に備えるようにしなさい、この最後の2週間が大切な勝負どころだからと念を押しました。担任としては、やはり難しいかもしれない、早く気持ちを次の試験に向かせようと考えました。点数的にはあと各教科1問正解すれば、合格できるレベルです。とにかく、受験勉強が切れることのないように続けてほしいと願いました。

そして、1週間後、推薦入試結果発表の当日になりました。この当時は結果を各学校から公立高校に書類を取りに行く方式でした。中学校から本人に結果を伝えるのです。私は朝から別の高校へ書類を取りに行き、中学校へ戻りました。すると、職員室に重苦しい空気が流れていました。

〇〇さんのお父様が今朝お亡くなりになったという連絡があったのです。警察官のお父様は昨日までお元気にお仕事をされていたとのことでしたが、今朝自宅で突然との内容でした。これは家族にとってたいへんなことになりました。

そして同時に、選考結果を伝え、次をどうするか今日か明日に決めて一般試験の願書を公立高校に出さなければなりません。教室に戻ると、結果を待つ生徒がいました。多くの生徒は合格していました。しかし、〇〇さんは、なんと不合格でした。

学年主任の先生から、〇〇さんに関しては、放課後に呼ぶのではなく、いっしょにご自宅へ行き、お伝えしようとの言葉がありました。当時はまだ携帯電話も普及しておらず、状況からこちらから伺う方法をとりました。

教室に行くと、クラスの生徒たちはみな静かに待っていました。多くは〇〇さんの不幸が伝わっており、試験の結果どころではないとの雰囲気はわかっているようでした。この当時までは、こうした人の気持ちや、自分だけでなく人の事も考えて行動しようとの本来あたりまえの姿がまだ残る時代でした。それでも、別室で推薦合格を伝えると、どの子ども子どもらしい笑顔を瞬間的には浮かべますが、気持ちを押しさえなければいけないとの心は、ほとんどの子どもが持っていました。〇〇さんを除き、推薦試験受験者は全員が合格でした。予想はしていた結果ですが、運命の神様はどこにいるのかとの気持ちにもなりました。

放課後、〇〇さんの家に行くと、すでにお通夜の準備が行われており、業者の方が動き回り、駆け付けてきた親戚縁者、ご近所の方がこまごまとした準備に動かされていました。

まずは、お母様にお悔やみの言葉をおかけし、お父様のご霊前に手をあわせました。お父様のご霊前からは、「〇〇を頼みます」との言葉が聞こえてくるようでした。〇〇さんは、なかなかでてきませんでした。高校3年生のお姉さんにうながされ、奥の部屋から出てきました。

お母様と〇〇さんを前に、あらためてお悔やみの言葉をお伝えしたあと、推薦試験の結果をお伝えしました。お母様は冷静に受け止められていました。〇〇さんは、結果を伝えるとそれまでうつむきながらも気丈に振舞っていたのですが、目から大きな涙が手の甲にこぼれ落ちました。お母様もさすがに元警察官らしく、動揺を見せることなく、静かに聞いてくださいました。とにかくまずはお通夜と告別式、その後の様々な手続きや、手配などもありましたが、実は〇〇さんの進路手続きも今後どうするか、刻一刻とタイムリミットが近づいていることをお伝えしました。推薦入試の結果を受けて、公立高校一般入試のための願書を明日かあさってまでに提出するか、公立高校受験をあきらめて私立学校に入学金を支払うか、私立学校は入学金の納入期限を、公立高校の一般入試の結果発表日まで待つはくれないしくみでした。公立一般入試を受ける

か、私立に行くか、公立ならどこに願書を提出するか、私立に入学金は支払っておき公立校が不合格の場合の行き場所は確保し保険とするか、支払わずに入学辞退とするか、ハードルは単純ではありません。

〇〇さんは父の通夜・告別式を行う中で、これらの判断を迫られることになりました。多くの生徒は通常は併願校の私立へ行くか、私立へ入学金のみ支払い、公立高校の一般試験に挑戦します。しかし、心やさしい〇〇さんは、考えました。「お父さんが亡くなり、お母さんは働いていない。お姉ちゃんは大学に合格が決まっている。自分がお金のかかる私立に行くわけにはいかない」そして、賢い〇〇さんはなおも考えたそうです。第一志望校はとても難しい学校であり、倍率もある。次の学校は偏差値が60程度で、ここはさらに倍率が高い、その次となると偏差値は50程度で倍率は高いがなんとかなりそうだ、確率はより高くなる。私立はとても支払えないし、自分のがまんをするしかないとの結論でした。しかし、現実には第一志望校は有名公立・私立大学の推薦枠を多数持ち、進学率100パーセントですが、第二志望校は進学率が70パーセントほどになり、進学先も様々、卒業後の浪人生も数多くいます。第三志望校に至っては、真面目に学習する生徒が苦勞するのが目に見え、上級学校への進学は相当難しい学校でした。（当時です。）

翌日、告別式を終えた足で、学校に来てもらい、お母様と〇〇さんの三者で相談をしました。親子で相談する時間もなく、その場で〇〇さんの言葉を聞いたお母様は驚いた様子でした。結局その場では結論がでず、家庭内で再度相談をして連絡をいただけることになりました。タイムリミットは翌日には願書提出期限です。そのため、事前に志望校の書類を作成し、すぐに高校名のみ記入して提出できるように準備を進めました。

この晩も遅くまで三人で話し合いをしたそうです。

お姉さんは「私は大学を辞退して働くから、〇〇には行きたい学校に行っていよいよ」、お母さんからは「二人とも行きたい学校に行っていんだよ、お母さんも働くし、お父さんが残してくれたお金もある、きっと、お父さんもそれを望んでいるから」と話してくれたそうです。家族の話し合いはお父様の思い出話も含め、その夜ずっと続いたそうです。

それから数週間後、卒業式の朝、お母様は早くから式場にお見えになり、私と学年主任に丁寧

にお礼を伝えてくださいました。そして式終了後、法令上の公簿として永久保存になっている卒業証書授与台帳に、〇〇 〇〇 保護者氏名欄にはお母様の名前を、進学先には〇〇高等学校と第一志望校の名を書きました。（卒業証書を直接手渡すのは校長ですが、台帳記入は担任の先生が自筆で書きます。ここまで終わると担任の先生は、終わったという実感と寂しさが脳裏を駆けめぐります。）

普通はここでお話は終わるのですが、実はこのあと10数年後、20代後半になった〇〇さんから、突然年賀状が届くようになりました。彼女らしく、フワッとした雰囲気のある小さな文字の中に、「先生、私のことを覚えていますか？ あの時は本当にお世話になりました。ありがとうございました。私はいま、元気です」とだけあり、差出の住所は隣県のある市町村名でした。その後、毎年、年賀状は届き、「私は元気です」とのみ書いてあるのです。もちろん、担任としてはうれしいですし、今さらどこで何をしているなど、野暮なことは聞きません。そして、しばらくすると「私は元気です。結婚しました」からご主人との顔写真つきになり、「私は元気です。子どもが生まれました」と毎年ご家族の写真が送られてきます。家族も増えたようです。時々、母も元気ですとあるのが、うれしいです。

〇〇さんは一体、学校で何を学び、どんな仕事に就いているのか、全くわかりません。しかし、毎年、元気で過ごしていること、家族と幸せな家庭を築いていることがよくわかります。そして、担任として、彼女が中学3年生の時の経験をもとに何かを志し、その仕事に向かっている姿が見えてきます。いずれにしても、天国でお父様はずっと見守り、喜んでいると思うことを、毎年書き添えています。今年も日本ではそろそろ年賀状を書く季節になりました。

さて、本校の中学部3年生の生徒たちは、これから願書の提出、受験、入学手続き、等々のために11月頃から日本に行きます。国内校とは異なり、隣に友人もいない、担任の先生もいない、相談できる先生もいない環境となり、本人と家族での孤独な戦いの毎日となります。

しかし、6名の生徒一人ひとりを見ていると、それぞれに人として大切なことを身につけており、学力も優秀です。すでにそれぞれ個性があり、夢見る将来もある様子です。本校の最上級生として、この数か月間を校内のリーダーとして、お兄さん、お姉さんとしてもよきお手本として過ごしてくれました。

中学部3年生のみなさん、いよいよです。自分の道を切り拓いてください。富士山の頂上を目指すには、ひとつの道だけではありません。大きな志を持ち夢に向かい、挑戦し続けることです。どのような結果になっても、胸を張り、顔をあげて笑顔で帰ってきて下さい。ご家族を含め、元気に再会できることをお祈りしています。どんな時も笑顔、3年生たちのすばらしい宝物です。その笑顔が明日のあなたを創る力になるはずです。人生の節目である進路の決定。あなたがそれをどう乗り越えていくか、やはりどこかで神様は見ています。

シカゴから全校の園児、児童、生徒、教職員が応援していますからね。

リスもウサギも、コヨーテも応援にかけつけています。

「タイム スリップ」 中学部1年生生徒の作文から

もしも タイム スリップできるなら

四月四日の 僕と話したい

どうしても 伝えたいことがあるんだ

四月四日 アメリカへ向かう飛行機の中

これから家族で暮らす アメリカへ向かう

初めての引越し 初めての転校

友達はあるかな 異国の地になじめるかな

様々な不安に 押しつぶされそうな 僕に

どうしても 伝えたいことがあるんだ

「大丈夫だよ シカゴはとてもいい所だよ

素敵な友達も 先輩も たくさんいるよ

学校は楽しいよ 日本と変わらず あたたかい人で

あふれているよ 自然豊かでのびのびと過ごせるよ

何も心配しなくていい」

そう 伝えたい

残念ながら タイム スリップは できないが

これから 同じように不安な気持ちと共に

何か新しいことに挑戦する友に 伝えたい

【キャリア・パスポートについて】 ??????

キャリア・パスポートについてご存じでしょうか？

「初めて聞きます」「何ですかそれ、履歴書ですか？」など保護者の方からすると耳なれない言葉だと思えます。

これは、文部科学省からの指導で、日本全国の児童生徒が、小学校から高等学校までの特別活動や道徳、各教科学習など、教育活動を通して、将来の進路を考える上で学んできた活動の記録を残し、上級学校での学習や進路選択に活かすとの趣旨で作成する記録資料です。担任の先生が記入する通知表とは異なり、形式は各地域や学校により様々です。児童生徒の作品や掲示物をそのまま挟んでいるものもあります。

大切な点は、本校で作成したキャリア・パスポート（緑のファイル）を日本国内の学校へ進学や転校する際に、持参して提出してください。最終的には高等学校卒業時点で、生徒の手に戻されます。

主旨は立派で壮大な計画ではありますが、始められたばかりであり、各都道府県や市町村の小・中・高等学校や特別支援学校、私立学校等ではその扱いに温度差があると思われます。本校では文部科学省の認定校でもありますので、このキャリア・パスポートを作成し、児童生徒の異動時に持たせます。通常では日本国内の学校から提出を求められますので、念のためお伝えいたします。

【ハロウィーン 注意も必要です】

まもなくハロウィーン、クリスマスです。アメリカの文化や歴史、宗教等を学ぶよい機会がやってきます。ご家族とお子さんと可能な限りお楽しみください。学校では子どもたちを地域にかえすことも大切な異文化理解の学習につながると考え、早帰りとします。

しかし、過去には日本人留学生がハロウィーン中の訪問で痛ましい事件に巻き込まれたこともあります。ご注意もお願いします。

(ここまでの文責は校長にあります。)



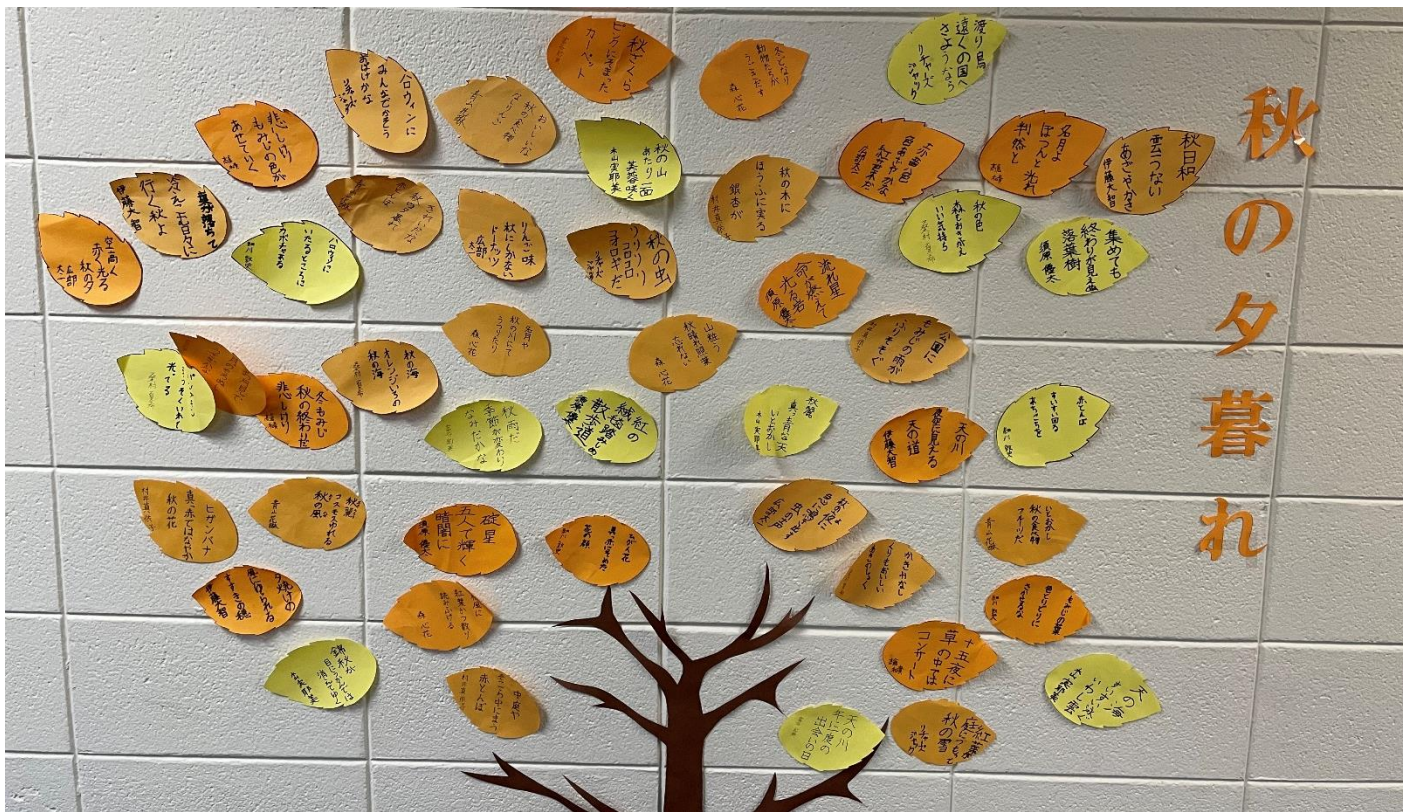
【授業料等納入金 特別措置について】

【11月退学される場合】11月中に退学届をご提出ください。届出がない場合は12月以降も在籍となり、第三回目のお支払い（4か月分）が必要になります。

【12月退学される場合】11月中に退学届を提出された場合のみ、1か月分（12月分）の授業料のみで12月末まで在籍できる特別措置があります。詳しくはオフィスまでご連絡ください。

【子どもたちの作品】





5年生 秋の夕暮れ (俳句)

おいしいな 秋の食べ物 ナシりんご	(青山 花琳さん)
赤黄色 色あざやかな 紅葉だ	(広部 太一さん)
公園に もみじの雨が ふりそそぐ	(村井 真依子さん)
天の川 年に一度の 出会いの日	(富谷 紗英さん)
葉が落ちて 冷え込む日々に 行く秋よ	(伊藤 大智さん)
悲しけり もみじの色が あせていく	(高倉 和貴さん)



			11月の予定 (保護者用)			
日	月	火	水	木	金	土
			1 全校朝会⑥ 教育相談日⑤ スケート3・4年②	2 スケート5・6年②	3 小3・4年 シカゴシンフォニー鑑賞	4
5 第二回英語検定2次	6	7 委員会⑧	8 定期テスト③1日目 小5交流学習 9:30～13:45	9 定期テスト③2日目 保育参観(お店やさんごっこ)	10 定期テスト③3日目 小5社会見学(三菱ロジスティックス)	11
12	13 授業公開旬間(～22日) 中学部交流学習(アダムス校 9:15～14:15)	14 小学部地域交流コンサート(9:00～10:45) クラブ⑦	15 縦割り集会⑥ 小4公開授業(音楽3限) 中学部スキー教室説明会 七五三 PTA執行部会⑥	16 小6公開授業(家庭科1限) 小3公開授業(書写4限)	17 小1公開授業(書写3限) 小5公開授業(体育6限) 小4交流学習(Dryden) 中学部感謝祭ターキーの会	18
19	20 中2公開授業(理科5限) 避難訓練⑥2h(厳冬期) 個人懇談①(中3)	21 中3公開授業(国語2限) 小2公開授業(図工3限) 個人懇談②(中3)	22 シカゴ集会 小1・2年演劇鑑賞 中1公開授業(数学6限) 個人懇談②(中3) 収穫感謝祭	23 Thanksgiving Day	24 Day after Thanksgiving	25
26	27 個人懇談開始(～12/8)	28 クラブ⑦ 中学部音楽(特別ゲスト)	29	30 中学部浅野さん授業(6限) 11・12月誕生会		